

2011年9月27日

各位

株式会社電通国際情報サービス

## ISiD、静岡中央銀行の信用リスク管理システムを再構築 ～「BANK・R 信用リスク計量化」により、リスク管理強化を支援～

株式会社電通国際情報サービス(本社:東京都港区、代表取締役社長:釜井 節生、以下 ISiD)は、株式会社静岡中央銀行(本店所在地:静岡県沼津市、代表取締役社長:奥田一、以下静岡中央銀行)の信用リスク管理システムを「BANK・R(バンクアール) 信用リスク計量化<sup>\*1</sup>」により再構築しました。本システムは、静岡中央銀行のリスク管理強化を支援するもので、約6か月という短期間での導入を経て2011年4月に稼働を開始し、現在安定して稼働しています。

### ■背景■

アメリカ発のサブプライム危機を契機として、金融機関には、更なるリスク管理強化、特に保有するポートフォリオの特性を捉えるリスク管理能力の向上が求められています。2009年度からは、金融庁と日本銀行がリスク管理強化を促すために、各金融機関におけるリスク管理手法やその活用方法の検証を重点的に実施しています。静岡中央銀行では、2003年より信用リスク計量化システムを構築し運用してきましたが、こうしたリスク管理強化の動きに対応するとともに、大正15年の創業時から経営理念として掲げる「堅実で健全な経営」をより強固なものとするために、既存システムの刷新を決定しました。

### ■「BANK・R 信用リスク計量化」採用のポイント■

#### 1. 金融機関に多くの実績があり、最新のリスク管理動向を踏まえた機能を備えていること

「BANK・R」は、業務縦割りの顧客情報を統合し、本部・営業店における営業支援・審査支援・経営支援システムを共通プラットフォーム上でシームレスに融合した地域金融機関向け統合ソリューションであり、数多くの金融機関で採用されています。2008年に発売を開始した「BANK・R 信用リスク計量化」は、昨今のリスク管理高度化の潮流を受け、2010年度だけでも新たに5金融機関で採用されています。こうした実績に加え、最新のリスク分析手法を取り入れた豊富な分析機能やストレスシナリオ<sup>\*2</sup>など、金融機関における信用リスク管理を強力にサポートする機能を備えている点が高く評価されました。

## 2. 導入テンプレートとコンサルティングサービスにより、短期導入が実現できること

「BANK・R 信用リスク計量化」には、豊富な導入実績とノウハウをもとに開発された導入テンプレートが用意されています。さらに、地域金融機関の業務に精通したエンジニアによる的確なコンサルティングサービスが提供できることで、お客様の負担を最小化しながら、短期間で導入できる点が評価されました。導入プロジェクトは2010年10月にスタートし、当初計画どおり6か月での稼働を実現しました。

## 3. 既存リソースを最大限に活用できること

静岡中央銀行は、2007年に「BANK・R パーゼルⅡ<sup>※3</sup>対応」を導入しています。統合ソリューションである「BANK・R」ならではの長を生かし、共通するデータやインターフェース、ハードウェアなど既存のリソースを最大限に活用できる点も評価されました。

### ■システムの導入効果■

本システムの導入により、静岡中央銀行ではポートフォリオ全体や特定セグメントにおけるリスク分析の精緻化・高速化はもとより、個別・店別・業種別など様々な切り口でのリスク分析による多面的な評価が容易となり、業務負荷の軽減も実現しています。

同行では今後、本システムを、資本充実度検証や銀行全体の与信業務計画の策定から個別のリスク評価基準の設定まで、幅広く活用していく計画です。

※1 信用リスク計量化：与信先の債務不履行の可能性に加え、特定の与信先・業種等へのリスク集中や不動産・有価証券等の担保価格の変動等による影響(損失)額を勘案し、金融機関が有する与信ポートフォリオ、個別与信の信用リスクの程度を推量すること。

※2 ストレスシナリオ：現状の業務運営に対して、将来発生しうる信用力低下や担保評価額の下落など特定の事象による負荷を考慮したシナリオのこと。ポートフォリオの脆弱性を把握するために実施する。

※3 パーゼルⅡ：2007年3月期末から導入された銀行の新しい自己資本比率規制のこと。従来のパーゼル規制(BIS規制)に代わるもので、パーゼルⅡと呼ばれている。サブプライム危機を踏まえ、資本の質の見直しなどを一部改訂したパーゼルⅢが2012年末から段階的に導入され、2019年には全面的に適用される予定である。

#### 【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス 金融ソリューション事業部 金融事業戦略部  
TEL:03-6713-7007 E-Mail: [g-finmarketing@group.isid.co.jp](mailto:g-finmarketing@group.isid.co.jp)

#### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス 経営企画室 広報担当 李  
TEL:03-6713-6100 E-Mail: [g-pr@isid.co.jp](mailto:g-pr@isid.co.jp)

●BANK・R(バンクアール)について(<http://www.isid.co.jp/solution/bankr.html>)

地域金融機関の経営課題にフォーカスし、融資・審査や営業チャネル構築、リスク分析など、高い専門性が求められる領域の業務に特化したパッケージです。業務ごとに機能を分けたモジュールによって構成され、業務優先度の高いシステムから段階的にシステムを構築することができます。

<株式会社静岡中央銀行 会社概要>

社名 : 株式会社静岡中央銀行  
代表者 : 代表取締役社長 奥田 一  
本社 : 静岡県沼津市大手町4丁目76番地  
U R L : <http://www.shizuokachuo-bank.co.jp>  
設立 : 1926年  
資本金 : 20億円  
連結従業員 : 532人(2011年3月31日現在)

<電通国際情報サービス(ISID) 会社概要>

社名 : 株式会社電通国際情報サービス(略称:ISID)  
代表者 : 代表取締役社長 釜井 節生  
本社 : 東京都港区港南2-17-1  
U R L : <http://www.isid.co.jp>  
設立 : 1975年  
資本金 : 81億8,050万円  
連結従業員 : 2,204人(2011年3月31日現在)  
連結売上額 : 602億3,200万円(2011年3月期)  
事業内容 : 1975年の設立当初から顧客企業のビジネスパートナーとして、コンサルティングからシステムの企画・設計・開発・運用・メンテナンスまで一貫したトータルソリューションを提供してきました。IT Solution Innovator をビジョンとし、金融機関向けソリューション、製品開発ソリューションをはじめ、グループ経営/連結会計、HRM(人事・給与・就業)、ERP、マーケティング、クラウドサービスなど、幅広い分野で積極的な事業展開を図っております。

\* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。